

先輩から尾中生へのメッセージ～おばなざわ未来クラブ活動～

先日発行された「おばなざわ未来クラブ通信 vol.2」に、活動に関わってくださった講師・指導者の方のコメントが掲載されていましたので、ここに紹介します。

■CREATIVE OBANE CLUB

加藤健介さん（イデラルラボ代表）

秋葉遥奈さん（イデラルラボ）

「もの作りの楽しさを知ってもらいたい」

「尾花沢の子供たちに自分のアイデアや新しい発想を形にする楽しさを知ってほしい」

■サッカー教室

岡崎建哉さん（株式会社モンティディオ山形）

「『生き方は選べる』もので、どうせ無理と諦めず、自分がどんな人間になりたいかを探り、迷わず進んでほしい、人生をワクワクして生きてほしい」

■ハンドボール教室

藤 勢流さん（豊田合成ブルーファルコン名古屋・尾花沢中出身）

「一流選手ほど、人として挨拶や礼儀を重んじ、常に謙虚。自分もそうありたいと思う。監督には、“当たり前”の水準を高めることを言われている。食事、睡眠、日常の水準をいかに高め、維持するかを心がけている」

矢作 元さん（豊田合成ブルーファルコン名古屋・尾花沢中出身）

「目標を持ち、その目標に対し常に自分の到達点を確認するとともに、アプローチを間違っていないか確認することを大切にしてほしい」

■陸上教室

高橋亜珠さん（筑波大学・尾花沢中出身）

「仲間の存在はとても大きい。本番は1人だけど練習は仲間と励まし競い合いながら、時にケガで満足な練習ができない中でも仲間の支えで頑張れた。普段からコミュニケーションをとることを心がけている」

武田莉奈さん（東北福祉大・尾花沢中出身）

「自分が走り、結果を出すことが皆さんへの気持ちへの恩返しだと思っているので、これまで自分を支えてくれた人や応援してくれた人への感謝の気持ちを大事にしている」

ミラノ・コルティナ五輪に出場した選手が発する言葉は、私たちの心に深く刺さるものでした。同じように、自分以外の方々が発する言葉にも、自分の生き方の参考にならないかと、意識して聞いてみませんか。これも一つの学びです。

【文責：校長 工藤雅史】

